

令和3年度

学校関係者評価報告書

学校法人 M G L 学園

高崎動物専門学校

学校関係者評価委員会

令和4年6月22日

1. 学校の現況

学校名 学校法人MGL学園 高崎動物専門学校

所在地 群馬県高崎市岩押町 5-4

設置学科 商業実務専門課程 ペットビジネス学科 定員 320名

文部科学省認定 職業実践専門課程・高等教育の修学新支援制度対象機関

厚生労働省認定 専門職業教育訓練

群馬県指定 愛玩動物看護師養成所（法附則第2条第1号ハ及びニ）

2. 学校の特徴

①群馬県内のペット業界の要望に応じて、群馬県初の動物専門学校として設立

②ペット業界の代表団体である全国ペット協会と連携して、ペット業界が求める人材を育成しようと努力していること

③学園附属のペットショップや附属の動物病院実習施設を持ち、実践的な実習を行っていること

④卒業生のペット業界へ就職する割合が高いこと。卒業生でこの分野の有名人を輩出していること

⑤世界のトッププロが毎年来学し講演等をおこなうので、世界のトップの技術及び人間性に学生が直に触れることができること

⑥獣医師の専門医団体「LIVES」との連携により、質の高い動物看護師教育を行っていること

3. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

M i s s i o n (使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」マナー…礼儀正しさ

「G」グリット…やり抜く力

「L」リーダーシップ…思いやり・模範を示す

教育目標

「利他の人」…人の役に立つ人材に

「積極的な人」…自ら考え行動できる人に

「夢を持つ人」…専門性を生かし活躍できる人に

I 評価結果

高崎動物専門学校は、専修学校設置基準・高等教育の修学支援新制度（高等教育の無償化）認定要件・職業実践専門課程認定要件・専門実践職業訓練認定要件をはじめ、愛玩動物看護師法附則 2 条養成所指定基準など、関係法令に適合しています。

総合評価

高崎動物専門学校は、技術校として必要な施設・設備・人材・教材を十分に備えており、業界のニーズに合ったカリキュラムで伸びしろの大きな人材を輩出しています。

特に技術の習得に欠かせないモデル犬が豊富で、しっかりとした実技実習ができることや、学生全員に配布されるタブレットによる効率的な情報発信・情報共有を早期から導入活用し、さらに Web ポータルを導入して学生や保護者との連携をスムーズにしたことは大きな強みであると評価する。

主な優れた点

- 学生全員にタブレット端末を配布し、Web ポータルを導入して学生や保護者との連携をスムーズにした。
- ペット業界との連携が良く取れており、教育課程が当該職業分野の期待に応えるものとなっており、高い就職率や資格取得、さらに就職後の活躍に繋がっている。
- 動物看護師統一認定試験の 100%合格の実績や、愛玩動物看護師法附則第 2 条について群馬県で一番最初に養成所の指定を受けるなど、動物専門学校の模範となっている。
- 多数の卒業生がペット業関連企業で活躍するとともに、国際的なコンテストで複数の卒業生が優秀な成績をあげるなど、優れた学修成果をあげている。

主な改善を要する点

- 教職員の採用・育成計画（ICT リテラシーの向上）
- コロナ禍において増加傾向にある学生の心の病への対策。
- 保護者 Web ポータル参加者数の増加。

更なる向上が期待される点

- 愛玩動物看護師国家資格カリキュラムの模範的な授業の構築。
- コロナ禍後の海外挑戦や国内ボランティア活動等の復活
- ピアサポートの充実

Ⅱ 基準ごとの評価

基準1 教育理念・目標

- 1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。
- 1-2 学校における職業教育の特色は何か。
- 1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。
- 1-5 教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

【評価結果】 基準1を満たしている。

【優れた点】

- 学校の目的に基づき、愛玩動物の具体的な事業（仕事）に分けたコース設定をしているので、何を目的にした学校か明確なこと。
- 学校の目的を実現するための行動指針がMGLという学校法人名になっているので、この上なく広く周知しやすいこと。
- 三つのポリシーが定められており、これに則った運営がされていること。
- 群馬県で初の愛玩動物看護師指定養成所（法附則第2条第1号ハ及びニ）として指定認可されたこと。

基準2 学校運営

- 2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。
- 2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。
- 2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか。
- 2-4 人事、給与に関する規定等は整備されているか。
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。
- 2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。
- 2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。
- 2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

【評価結果】 基準2を満たしている。

【優れた点】

- ペット業界との連携が良く取れており、教育課程が当該職業分野の期待に応えるものとなっている。
- ホームページのトップ画面に情報公開のバナーを設け、積極的に情報公開をしている。
- 独立監査人による外部監査を実施している。

基準3 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。
- 3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。
- 3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。
- 3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。
- 3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。
- 3-6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。
- 3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか。
- 3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。
- 3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。
- 3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。
- 3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。
- 3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。
- 3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。
- 3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。

【評価結果】 基準3を満たしている。

【優れた点】

- WEBポータルを利用した出欠登録や掲示板を利用した情報共有システムの導入により、教員と学生間でさらに短時間で効率の良い連携が可能となったこと。
- 企業と連携した実習・演習は、多くの企業が参加しているため、より実践的なものとなっている。

- 日本能率協会の研修や質保証機構のFD／SD研修にも参加しており、教職員1人1人のスキル向上を図っている。
- 教育活動に関する情報公開が適切にされているので、入学希望者が安心して進学できる。

【改善を要する点】

- 教職員の採用・育成計画（ICTリテラシーの向上）

【更なる向上が期待される点】

- 愛玩動物看護師国家資格カリキュラムの模範的な授業の構築を期待。

基準4 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか。
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか。
- 4-3 退学率の低減が図られているか。
- 4-4 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。

【評価結果】 基準4を満たしている。

【優れた点】

- 動物看護師統一認定試験の100%合格の実績や、愛玩動物看護師法附則第2条について群馬県で一番最初に養成所の指定を受けるなど、国やペット業界が要望する人材を育成している教育機関である。
- 学生全員にタブレット端末を配布しているため、きめ細やかな生徒指導ができる。
- 授業ごとの学生アンケートに実施して、学生の満足度が計られている。

【改善を要する点】

- コロナ禍において増加傾向にある学生の心の病への対策。

基準5 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。
- 5-3 学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか。
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。
- 5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。

- 5-6 学生の生活環境への支援は行われているか。
- 5-7 保護者と適切に連携しているか。
- 5-8 卒業生への支援体制はあるか。
- 5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。
- 5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。

【評価結果】 基準5を満たしている。

【優れた点】

- 企業合同のオンライン就職説明会を開催し、業界の大手企業へ多数の学生が就職している。
- 専門実践職業訓練を行っているので、社会人が学びやすい。

【改善を要する点】

- 学生の就職を阻害しないよう保護者教育の機会の構築。

【更なる向上が期待される点】

- 保護者ポータルサイトをもっと保護者に活用してもらえよう、保護者意識の向上。

基準6 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか。

【評価結果】 基準6を満たしている。

【優れた点】

- いち早くオンライン授業の開始やアクリル板の設置、消毒・検温体制の構築など、コロナ禍でも安心して学べる体制を構築した。

【改善を要する点】

- コロナ禍後の海外挑戦や国内ボランティア活動等の復活。

基準7 学生の受け入れ募集

- 7-1 学生募集活動は、適正に行われているか。
- 7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。
- 7-3 学納金は妥当なものとなっているか。

【評価結果】 基準7を満たしている。

【優れた点】

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済的損失を被ったご家庭も多くあることに鑑み、進学希望者に入学金免除制度や入学後学費納入制度を実施した。

【更なる向上が期待される点】

- 新たな時代の学生募集の構築

基準8 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。

【評価結果】 基準8を満たしている。

【優れた点】

- 財務は盤石であり、独立監査人の外部監査も行われるなど、適正である。
- 安心して進学できるようホームページで経営状態の情報公開を行っており、オープンキャンパスでも説明している。

基準9 法令等の順守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。
- 9-4 自己評価結果を公開しているか。

【評価結果】 基準9を満たしている。

【優れた点】

- 自己評価は毎年行われており、ホームページで公開されている。
- 個人情報保護に関する情報管理規定を設け、適切に管理している。

基準10 社会貢献・地域貢献

- 9-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。
- 9-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
- 9-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。

【評価結果】 基準10を満たしている。

【改善を要する点】

- コロナ禍における学校の施設を活用した社会貢献・地域貢献のあり方

【更なる向上が期待される点】

- 動物愛護施設などへのボランティア派遣について
- ピアサポートの充実

高崎動物専門学校

令和3年度 学校関係者評価委員会

委員 佐山 等 (一般社団法人日本動物専門学校協会理事長)

委員 福岡千尋 (わんちゃんのところさんカルア代表)

委員 神宮和晃 (高崎動物専門学校 卒業生)